



LINEで気象情報や避難場所の検索ができます

羽村市 LINE 公式アカウントで防災メニューの運用を開始しました。気象情報や河川情報、避難場所を検索することができます。メニューの「防災」を押すことで、アクセスできます。ぜひ利用してください。

問合せ 防災安全課防災・危機管理係 214 / LINE に関すること…情報政策課 518

操作はカンタン！



▲「防災」を押す。

▲ボタンを押すと知りたい情報が確認できます。

LINE @友達募集中！



市 LINE 公式アカウントの友だち追加がまだの方は、友だちの追加をお願いします。

【登録方法】

スマートフォンなどで LINE アプリを起動し、次のいずれかの方法で登録してください。
○メニューの「ホーム」から「羽村市」または「@hamura_city」と入力して検索する。
○「友だち追加」から「QR コード」を選択して、上の二次元コードを読み取る。



▲エゴちゃん

クール 代表的なのは

ね！この国なんです

エゴ そんなにすごい国があるんだよ。100%を達成した国もあるんだよ。
クール そのとおり。略して再エネと言われることもあるね。これからの地球温暖化対策で重要な役割を持つといわれているんだ。世界には自国で使用する電気の全てを再エネで賄う「再エネ100%」を達成した国もあるんだよ。

エゴ 再生可能エネルギーのことですよ！

クール そうだよ。今まで以上に地球温暖化対策をしないと、どんどん大きな被害が起きるようになってしまってもいけないね。けれども、一方では風や水など自然のエネルギーを使って発電する方法などが広まってきているんだ。

エゴ 環境についていろいろ勉強してきました。大豆ミートの料理も作りました！でも、夏から秋にかけて線状降水帯があちこちで発生したり、冬には日本海側で大雪が降ったり、地球温暖化の影響を感じるような1年だった気がします。

クール そうだよ。今まで以上に地球温暖化対策をしないと、どんどん大きな被害が起きるようになってしまってもいけないね。けれども、一方では風や水など自然のエネルギーを使って発電する方法などが広まってきているんだ。



▲クール先生

第18回 目指せ！再エネ100%



▲クール先生

エゴ 頑張らないとですねー。日本にも再エネ100%を目指すための再エネ資源はあるんですか？
クール もちろん。日本は周辺を海に囲まれていて、海上での風力発電もあるし、他にも日本の至る所に温泉があるように地熱もあるから、潜在能力はかなりのあるんだよ。
エゴ そうなんだーもっと広まっていくといいなあ。自分の力で再エネ施設を造ることは難しいから、私はつくられた電気を無駄にしないことを頑張ります！

問合せ 環境政策課 227

男女共同参画に関するミニコラム Vol.20

女性の視点を取り入れた防災のため、地域に女性リーダーを

執筆：神子島 健 (第13期羽村市男女共同参画推進会議会長、東京工科大学教養学環教授)



問合せ 総務課総務係 347

能登半島地震が発生した昨年(2023年)の1月1日、内閣府の男女共同参画局は、揺れの大きかった地域に対して男女共同参画の視点から災害に対応するように依頼しました。これは過去の巨大災害において、避難所で女性が性被害を受けたり、復興のプロセスで女性の声が十分に反映されなかったりしたからです。

男女共同参画の視点から、災害に対応する具体策として「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」が2020年5月に内閣府から出ています。そこには「人口の半分は女性であり、女性と男性が災害から受ける影響の違いなどに十分配慮された女性の視点からの災害対応が行われることが、防災や減災、災害に強い社会の実現にとって必須」と書かれています。

大きな災害になればなるほど、市役所の職員などは被害の把握、対策拠点の設営、インフラの復旧などに追われます。避難所の運営などは地域住民が自分たちで担わなければなりません。そのためにも地

域の人々がそれぞれ持っている力を出す必要があります。当然、女性も力を出す必要があるのに、今までの災害では十分に力を出せなかったのです。

避難所の例を考えてみましょう。もちろん、過去の災害でも女性たちは避難所で炊き出しや掃除、洗濯などで活躍してきました。しかし、それだけではだめなのです。「男性がリーダーとして指示を出して、女性がそれに従う」のでは、避難所運営の視点に偏りが生まれるからです。女性も、災害対策のリーダーを担っていく必要があります。

しかし、必要性を言うだけではリーダーは増えません。日本列島では災害がいつ起こるかわかりません。だからこそ急ぐ必要のある課題でもあり、同時に一朝一夕に解決できない課題でもあります。結局、日ごろの地域でのさまざまな活動から、女性が関わりやすい進め方を取り入れ、地域のさまざまなレベルの活動に女性リーダーが増えることなしには、災害時の女性リーダーも増えないのです。



栄小学校 「あこがれ・夢広場」

2月7日、栄小学校で「あこがれ・夢広場」というワークショップ形式の授業が行われました。4～6年生の合計約150人の児童が、6つのグループに分かれ、さまざまな仕事の魅力に触れました。



▲CASIOのG-SHOCK開発チームが「発明」の考え方のヒントを伝授！



▲㈱ココロ社のポップコーンマシンの中を見せてもらいました。



◀こちらのチームは、ボイストレーニングに挑戦しましたよ。



宝くじ助成事業でテントを整備しました

市では、(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金を受け、ワンタッチテントを購入し、8町内会・自治会に整備しました。

コミュニティ助成事業は、コミュニティ活動の促進と健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報を目的としています。

問合せ 地域振興課地域振興係 202